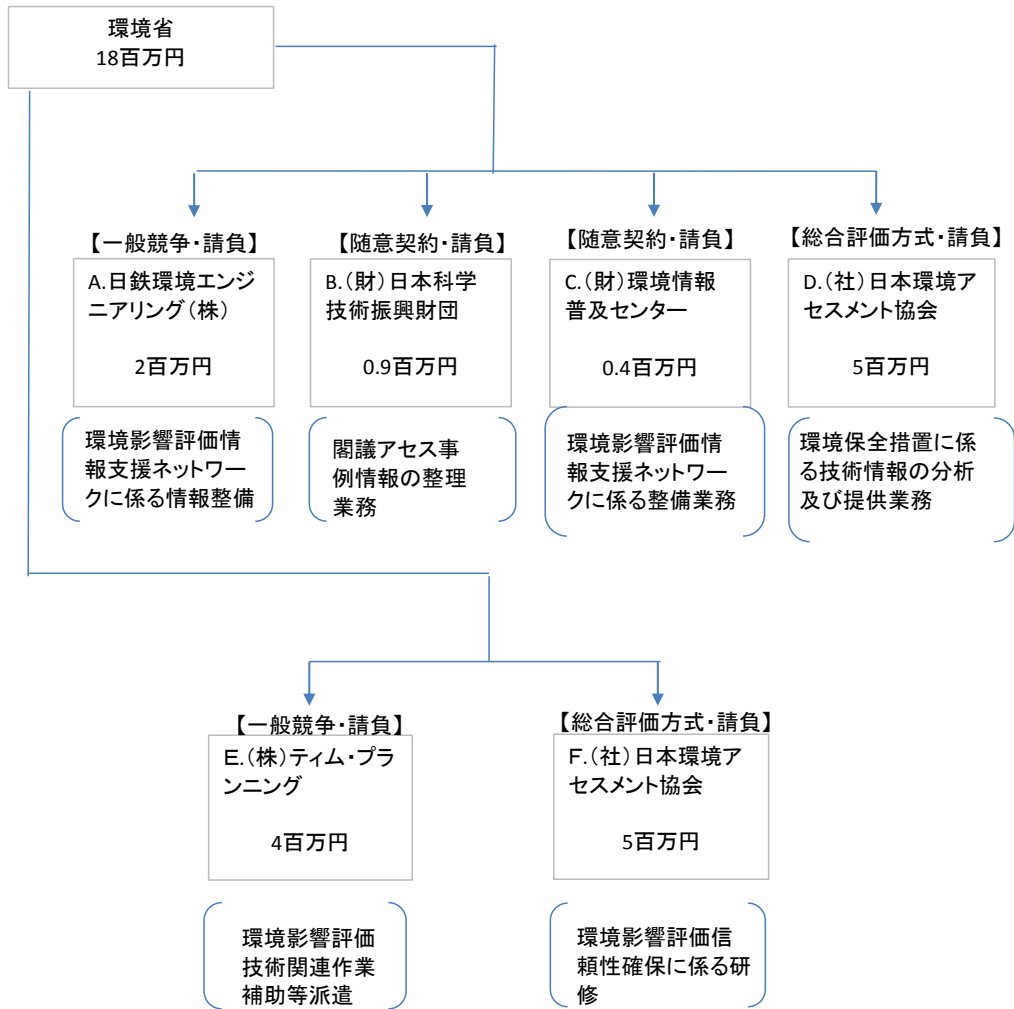


行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	環境影響評価制度充実推進費	事業開始年度	平成9年度	作成責任者		
担当部局庁	総合環境政策局	担当課室	環境影響評価課	課長 花岡 千草		
会計区分	一般会計	上位政策	環境政策の基盤整備			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	環境影響評価法 衆議院附帯決議十 環境影響評価法 参議院附帯決議十二	関係する計 画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	環境影響評価制度の普及啓発や知見技術の向上を図り、適切かつ円滑に環境影響評価制度を運用するため、インターネットの活用や研修の開催等により、情報提供の場を整備する。このことにより、国民、事業者、行政担当者など環境アセスメントに携わる多くの主体が環境アセスメントに関する様々な情報に容易にアクセスでき有効に利用できるようになる。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	既存のシステムである環境影響評価情報支援ネットワークについて、環境影響評価事例や環境影響評価技術に関わる掲載情報を中心に情報の拡充・更新を行うため、その内容の検討及び情報整備を行う。また、環境アセスメントの制度・技術・実務に係る知見を有する専門家や地方公共団体の職員を講師に招き、環境影響評価実務関係者を対象に研修を開催する。これらにより、環境アセスメントに携わる多くの主体に対し、効果的に情報提供を行うもの。					
実施状況	<p>【A. 環境影響評価情報支援ネットワークに係る情報整備】 掲載情報を拡充するため、環境影響評価事例及び関連情報のデータ整備、関連する情報源情報やリンク集の更新作業等を実施。</p> <p>【B. 環境影響評価実施要綱に基づく事例(閣議アセス事例)の情報整理】 環境影響評価法の施行前に実施された、閣議決定に基づく環境影響評価の事例について、件数、内容等の整理作業を実施。</p> <p>【C. 環境影響評価情報支援ネットワークに係る整備業務】 環境影響評価制度に関する法や条例の運用・解釈の統一、判断の迅速化・効率化等を図るため、地方公共団体間等における円滑な情報交換の手段を整備。</p> <p>【D. 環境保全措置に係る技術情報の分析及び提供】 事業者等が環境保全措置の検討に必要な情報を効果的に情報収集できるよう、関連する環境技術情報や地域環境情報に係る既往WEBコンテンツの効果の検証を行うとともに、掲載情報の充実及び改良のための情報整備、コンテンツ作成を実施。</p> <p>【E. 環境影響評価技術関連作業補助等派遣】 派遣職員により、環境アセスメントに係る適切な情報提供及び普及啓発のための情報整備や実務者を対象とした研修業務等の補助業務等を実施。</p> <p>【F. 環境影響評価信頼性確保に係る研修】 環境アセスメントの制度・技術・実務に係る知見を有する専門家や地方公共団体の職員を講師に招き、早期段階からの環境配慮、コミュニケーション技術等について、環境影響評価実務関係者を対象とする研修を実施。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	25	19	18	16	34
	執行額	13	14	18		
	執行率	52%	74%	100%		
	総事業費(執行ベース)	13	14	18		
自己点検	支出先・ 使途の把握 水準・ 状況	情報整備及びコンテンツ作成についてはその結果の報告を求め、研修会に当たっては事前事後に報告を求めており、支出先・使途の把握は適切に行われていると考える。 環境影響評価支援ネットワークの掲載情報については、環境影響評価事例の追加や人と自然とのふれあい分野に係る環境保全措置の技術情報の追加に係る情報整備及びコンテンツ作成、各種情報源情報やリンク集の更新等を実施し、掲載内容がより拡充・更新された。 研修については、全国4箇所において各1日開催し、合計141名の参加があった。早期段階の環境配慮やコミュニケーション技術等について、基本的な考え方、事例、技術手法、最新情報等について提供した。				
	見直しの 余地	業務の発注内容について精査を行い、業務の集約等による効率的な発注を行う。 平成23年度要求については、「環境影響評価制度等推進費」及び「戦略的環境アセスメント導入推進費」と事業全体の統合を目指す予定。				
予算 監視 の 効率 化	抜本的改善  (「環境影響評価制度等推進費」、「戦略的環境アセスメント導入推進費」及び「環境影響評価制度充実推進費」について整理統合し、調査事項について、適宜見直しを行い、効率的な事業実施に努めるべき。)					
補 記						



**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。使途  
 と費目の双方で  
 実情が分かるよ  
 うに記載)

A.日鉄環境エンジニアリング(株)			E.(株)ティム・プランニング		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	環境影響評価情報支援ネットワークに係る情報整備費	2	雑役務費	環境影響評価技術関連作業補助	4
計		2	計		4
B.(財)日本科学技術振興財団			F.(社)日本環境アセスメント協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	閣議アセス事例情報の整理業務費	0.9	雑役務費	環境影響評価信頼性確保に係る研修費	5
計		0.9	計		5
C.(財)環境情報普及センター			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	環境影響評価情報支援ネットワークに係る整備業務費	0.4			
計		0.4	計		0
D.(社)日本環境アセスメント協会			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	環境保全措置に係る技術情報の分析及び提供業務費	5			
計		5	計		0